

このプレスリリースは日本語に翻訳されたものであり、英文によるオリジナルのプレスリリースは下記のサイトでご覧いただけます。

This press release is the translated version in Japanese. You can view the original press release in English at the following URL.

<https://readycomputing.com/en/news/ready-computing-joins-healthix-s-vendor-interoperability-program-to-offer-channels-connected-care-solution-to-health-information-exchange-participants/2021-02-25>

**2021年2月25日**

**Ready Computing は、医療情報交換網(HIE) 参加者に同社の医療連携ソリューション “Channels” を利用いただけるよう「Healthix ベンダー・インターオペラビリティ・プログラム」に参加します。**



**Ready Computing 社、ならびに医療情報交換(HIE) のリーダー Healthix は、適用性に優れた診療プログラム・マネジメント・ソリューション “Channels” の導入により、共同して医療情報交換 (HIE) の付加価値を高めます。**

New York 2021年2月25日 (Newswire.com) - 医療ITサービスとソリューションのリーディングベンダーであるReady Computingは、Healthix のVIP (ベンダー・インターオペラビリティ・プログラム) に参加することを発表します。Healthix は、国内最大規模を誇る公共医療情報交換網(HIE) のひとつ。医療情報交換網 (HIE) 参加者に革新的ソリューションを提供するとともに、医療提供者および患者のための医療の改善への取り組みにおいてもリーダー的存在となっています。

両者のコラボレーションにより、Ready Computing はニューヨーク州内の8000を超える医療機関に、診療結果が好ましくない高リスク患者抽出を支援するため、HIEから得られるデータを活かすセキュアなクラウド・ソリューションChannels の機能を提供することになります。2000万を超えるHealthixの患者データをChannels で処理することで、患者との新たな関わり方を発見する、あるいは患者を定着させる、ということが可能となるばかりでなく、価値にもとづく医療（value-based care）や「治療」と「癒し」の統合による新しい形のケア（whole-person care）をさらに発展させます。

「Healthix の革新的なVIP（ベンダー・インターオペラビリティ・プログラム）により、Healthixの顧客、またその他の医療機関に対してこうしたソリューションを提供できることを大変嬉しく思っています。Channels は Healthix のような大規模、且つ高品質な医療情報交換網（HIE）にひじょうに適したソリューションであり、導入時点からその価値を飛躍的に高めます」。Ready Computing のマーケティング兼事業開発VP（バイスプレジデント）のブレット・ジョンソンはそう語り、また次のようにも述べています。

「我々は、適用性に優れた医療連携ソリューションをヘルスケアコミュニティに提供し、リアルタイムのHIEデータを活用して高リスクの患者をすばやく効率的にケアできるよう、手助けすることを目指しています」。

Channels は完成度の高いソリューションであり、既存技術を補完しつつ、ニューヨークの各医療機関が世界的規模のパンデミックにも対応できるキャパシティを生み出します。

今回の Channels 提供により、Ready Computing は、拡張性に富んだソリューションを医療機関に提供することで、簡単に利用できるケアプログラム作成機能を活用してケア・コーディネーション戦略を最適化し、状況監視、評価などを、ひとつの使いやすいプラットフォーム上で行うことにより、患者により良いケアを提供します。

Channels 導入ユーザーは、次の機能にアクセスできます。

#### ■ Program Builder

リスクの高い患者はHIEのアラート、集団医学（Population Health）からのデータ、Excelも含めた分析エンジンからのデータ等により、Channels のプログラムに登録されます。

#### ■ Task Coordinator

コーディネーターにタスクをアサインするため、完全に自動化されたグラフィック・モデリングツールを使いながらケアプログラムを定義します。

#### ■ Workload Manager

リーダーや管理者は、ダッシュボードを活用し、スタッフのアサインや作業量の調整やパフォーマンスの管理を行います。

「Channels はHIE参加医療機関の既存のテクノロジーを補完するものです」。そう語るのはReady Computing 製品開発VP（バイスプレジデント）の トッド・ジョンソンです。「Channels 導入医療機関は最低限の労力で患者の状態を把握できるようになり、迅速な診療プログラムと直感的なワークフローを作成することにより、ケアの根底にある価値を高めることができます」とも語っています。

Healthix の革新的な VIP（ベンダー・インターオペラビリティ・プログラム）に参画することで、Channels を迅速且つ効率的に導入しつつ、医療機関やケアコーディネーター、そして患者に有益なさまざまなソリューションを開発する機会も得られることとなります。Healthix でイノベーションを担当するSVP（シニア・バイスプレジデント）の トム・ムーアは次のように語っています。「VIP（ベンダー・インターオペラビリティ・プログラム）の取り組みは Healthix において大変意義のあることであり、期待も大きいものがあります。Ready Computing 社の Channels を活用することで、将来に大きな期待をもてる新しい技術が、ヘルスケア領域における我々のデータに一層の力を与えてくれるのです」。

### **Ready Computing 社について**

Ready Computing は、医療およびその他の業種向けに、大規模ITソリューションの設計、開発、導入、運用を手掛ける企業です。米国ならびに米国外の公共分野、民間分野が主たるサービス分野であり、規模を問わず、すべての事業体に対して優れたソフトウェアの導入を支援しています。従来のIT投資を無駄にすることなく、相乗効果を生み出すことで顧客の競争力強化と将来への成長へつなげています。Ready Computing に関する詳細は Twitter, LinkedIn, YouTube でご確認ください。

### **Healthix について**

Healthix は、ニューヨーク市およびロングアイランドに2000を超える医療機関と8000以上の医療施設が加盟する米国内最大級の医療情報交換網です。2000万人を超える患者に、医療の質向上、ケア・コーディネーション、そして診療に必要な医療情報への安全なアクセスを提供しています。そして、Healthixから24時間体制、リアルタイムにもたらされる医療情報は、ニューヨーク州全域の患者に関するきわめて広範囲な、患者の電子的医療情報です。HITRUST (Health Information Trust Alliance) 認定と MARS-E (Minimum Acceptable Risk Standards for Exchanges) 準拠は、州の認定を得る上で大変重要な要件となっています。Healthix はこうした重要な要件を満たし、高度なセキュリティを提供することでHealthixのすべての参加者へ安全性を確保しています。

Healthix の詳細は [www.healthix.org](http://www.healthix.org) から。

また、[Twitter](#) , [LinkedIn](#) , [Facebook](#) [Instagram](#) でもご覧いただけます。